

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成30年8月2日(2018.8.2)

【公開番号】特開2018-88932(P2018-88932A)

【公開日】平成30年6月14日(2018.6.14)

【年通号数】公開・登録公報2018-022

【出願番号】特願2018-36325(P2018-36325)

【国際特許分類】

C 1 2 M 1/26 (2006.01)

G 0 1 N 33/574 (2006.01)

【 F I 】

C 1 2 M 1/26

G 0 1 N 33/574 D

【手続補正書】

【提出日】平成30年6月19日(2018.6.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

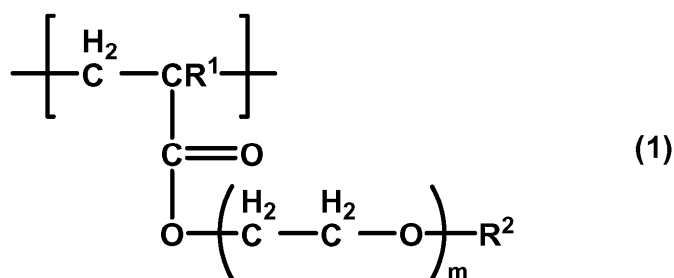
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

金以外の金属で作製された生体物質捕獲用のフィルターの表面に金めっきが施されており、金めっきが無電解金めっきであることを特徴とする、生体物質捕獲用のフィルター（ただし、下記一般式（1）で表される構造単位を含むポリマーからなる癌細胞接着性向上剤で被覆されたフィルターを除く。

【化 1】



[式中、R¹ は水素原子又はメチル基であり、R² はメチル基又はエチル基であり、m は 1 ～ 3 である。])。

【請求項 2】

無電解金めっきがシアンを含まないことを特徴とする、請求項 1 に記載の生体物質捕獲用のフィルター。

【請求項 3】

生体物質捕獲用のフィルターがニッケルを主成分とすることを特徴とする、請求項 1 又は 2 に記載の生体物質捕獲用のフィルター。

【請求項 4】

生体物質捕獲用のフィルターがニッケル、銀、パラジウム又は銅を含む合金を主成分とすることを特徴とする、請求項 1 又は 2 に記載の生体物質捕獲用のフィルター。

【請求項 5】

無電解金めっきが、置換型の金めっきと、置換型金めっき上に存在する還元型金めっきの組み合わせからなることを特徴とする、請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載の生体物質捕獲用のフィルター。

【請求項 6】

置換型金めっきが亜硫酸金を含む非シアン型であることを特徴とする、請求項 5 に記載の生体物質捕獲用のフィルター。

【請求項 7】

金めっきの厚みが $0.05\text{ }\mu\text{m}$ 以上 $1\text{ }\mu\text{m}$ 以下であることを特徴とする、請求項 1 ~ 6 のいずれか一項に記載の生体物質捕獲用のフィルター。

【請求項 8】

生体物質が細胞であることを特徴とする、請求項 1 ~ 7 のいずれか一項に記載の生体物質捕獲用のフィルター。

【請求項 9】

細胞ががん細胞であることを特徴とする、請求項 8 に記載の生体物質捕獲用のフィルター。

【請求項 10】

生体物質捕獲用のフィルターの貫通孔の開孔形状が円、楕円、角丸長方形、長方形及び正方形からなる群から選択される一つ以上の形状を含むことを特徴とする、請求項 1 ~ 9 のいずれか一項に記載の生体物質捕獲用のフィルター。

【請求項 11】

生体物質捕獲用のフィルターの貫通孔の開孔形状が長方形及び角丸長方形からなる群から選択される一つ以上の形状を含み、その短辺の長さが $5\text{ }\mu\text{m}$ 以上 $15\text{ }\mu\text{m}$ 以下であることを特徴とする、請求項 1 ~ 10 のいずれか一項に記載の生体物質捕獲用のフィルター。

【請求項 12】

生体物質捕獲用のフィルターの膜厚が $3\text{ }\mu\text{m}$ 以上 $50\text{ }\mu\text{m}$ 以下であることを特徴とする、請求項 1 ~ 11 のいずれか一項に記載の生体物質捕獲用のフィルター。